

令和7(2025)年度特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害状況等について

令和8(2026)年6月11日
環境森林部自然環境課・農政部経営技術課

- 令和7(2025)年度の特定外来生物クビアカツヤカミキリによる被害状況を取りまとめた結果、公園、住宅地等における新規被害木は2,860本(17市町)となり、一昨年度の減少から、横ばいにとどまっている(被害市町の累計は18市町)。
- また、被害が確認された市町における果樹園の被害樹率は、昨年度に比べ減少した。
- 今後とも被害拡大防止を図るため、市町に対する被害木伐採の補助をはじめ、防除対策を強化していく。

1 公園、住宅地等における新規被害木数

年度	サクラ(本)	その他※(本)	計(本)
H29(2017)	6	2	8
H30(2018)	150	69	219
R元(2019)	300	99	399
R2(2020)	544	90	634
R3(2021)	835	144	979
R4(2022)	1,923	562	2,485
R5(2023)	2,580	656	3,236
R6(2024)	2,432	356	2,788
R7(2025)	2,440	420	2,860

※ ウメ、モモ、プラム等

2 被害確認市町における果樹園の被害発生状況調査結果

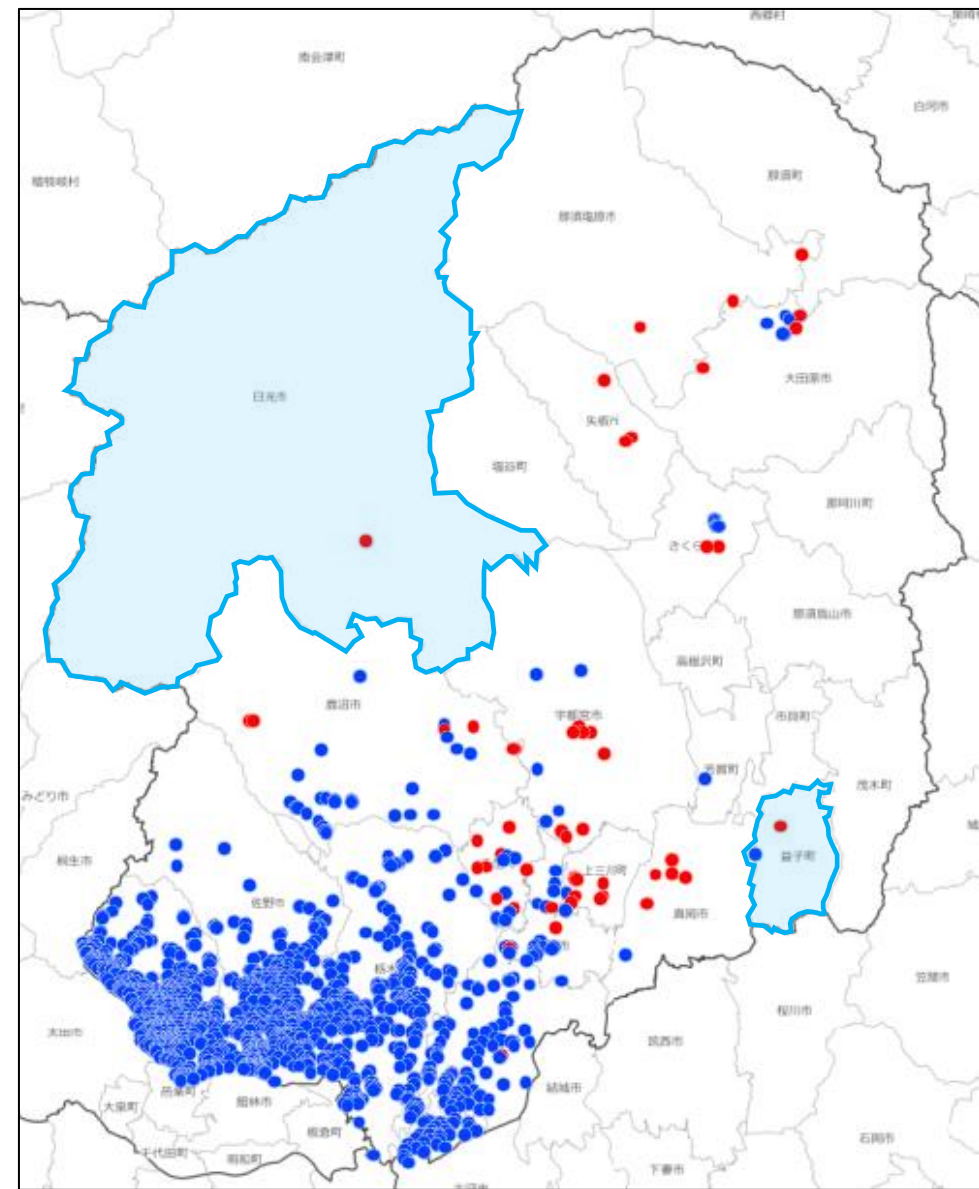
年度	被害樹率(%)	被害樹種	備考
R元(2019)	19	モモ、ウメ	足利市・佐野市(モモ)、栃木市(ウメ)
R2(2020)	17	モモ、ウメ	足利市・佐野市(モモ)、栃木市(ウメ)
R3(2021)	17	モモ、ウメ	足利市・佐野市(モモ)、栃木市(ウメ)
R4(2022)	18	モモ、ウメ、スモモ	足利市・佐野市(モモ)、宇都宮市・栃木市・鹿沼市(ウメ)、下野市(スモモ)
R5(2023)	20	モモ、ウメ、スモモ、アンズ	佐野市・足利市(モモ)、宇都宮市・栃木市・鹿沼市(ウメ)、小山市(アンズ)、下野市(スモモ)
R6(2024)	20	モモ、ウメ、スモモ、アンズ、ネクタリン、ブルー	足利市・佐野市・大田原市・野木町(モモ)、栃木市・鹿沼市・小山市(ウメ)、宇都宮市・壬生町(スモモ)、小山市・下野市(アンズ)、小山市(ネクタリン、ブルー)
R7(2025)	13	モモ、ウメ、スモモ、アンズ、ネクタリン、オウトウ	足利市・佐野市・鹿沼市・大田原市・野木町(モモ)、宇都宮市・栃木市・鹿沼市・日光市・大田原市・那須塩原市(ウメ)、宇都宮市・大田原市・那須塩原市・下野市・壬生町・野木町(スモモ)、小山市(アンズ、ネクタリン、オウトウ)

※被害樹率=被害樹数÷調査樹数(被害樹種)×100

3 令和8(2026)年度における県の取組

防除対策	<ul style="list-style-type: none"> 被害木伐採の補助 市町への資材の配備 農業者への防除指導、伐採等の防除支援 市町と連携した監視と防除 監視ポイントの増設 防除(主に被害予防)に関する試験研究等
体制整備	<ul style="list-style-type: none"> 外来種被害対策協議会(県・全市町) 被害発生都県(関東地方)による会議
その他	<ul style="list-style-type: none"> チラシ等による県民への注意喚起 防除対策マニュアル等による駆除方法の周知徹底 被害調査の実施 市町担当者及び造園業者等を対象とした防除研修の開催

○栃木県におけるクビアカツヤカミキリ被害確認箇所



- 令和7年度新規被害（過去に被害があった箇所を除く）
- 令和6年度までの被害
- 市町内の全被害木を伐採済み

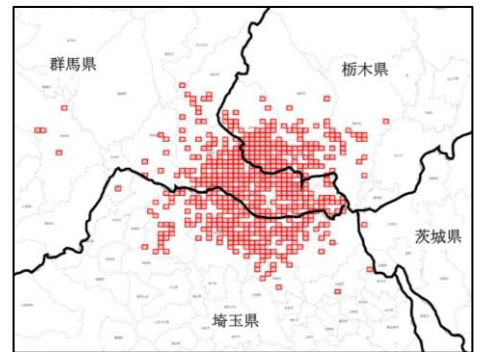
○被害確認市町の推移

令和7年度末現在 累計18市町で被害を確認

年度	市町
H29(2017)	<u>足利市</u> 、 <u>佐野市</u>
H30(2018)	<u>足利市</u> 、 <u>栃木市</u> 、 <u>佐野市</u>
R元(2019)	<u>足利市</u> 、 <u>栃木市</u> 、 <u>佐野市</u> 、 <u>小山市</u>
R2(2020)	<u>足利市</u> 、 <u>栃木市</u> 、 <u>佐野市</u>
R3(2021)	<u>足利市</u> 、 <u>栃木市</u> 、 <u>佐野市</u> 、 <u>小山市</u> 、 <u>壬生町</u> 、 <u>野木町</u>
R4(2022)	<u>宇都宮市</u> 、 <u>足利市</u> 、 <u>栃木市</u> 、 <u>佐野市</u> 、 <u>小山市</u> 、 <u>野木町</u> 、 <u>さくら市</u> 、 <u>鹿沼市</u> 、 <u>下野市</u>
R5(2023)	<u>宇都宮市</u> 、 <u>足利市</u> 、 <u>栃木市</u> 、 <u>佐野市</u> 、 <u>鹿沼市</u> 、 <u>小山市</u> 、 <u>真岡市</u> 、 <u>大田原市</u> 、 <u>さくら市</u> 、 <u>下野市</u> 、 <u>壬生町</u> 、 <u>野木町</u>
R6(2024)	<u>宇都宮市</u> 、 <u>足利市</u> 、 <u>栃木市</u> 、 <u>佐野市</u> 、 <u>鹿沼市</u> 、 <u>小山市</u> 、 <u>大田原市</u> 、 <u>さくら市</u> 、 <u>下野市</u> 、 <u>上三川町</u> 、 <u>益子町</u> 、 <u>芳賀町</u> 、 <u>壬生町</u> 、 <u>野木町</u>
R7(2025)	<u>宇都宮市</u> (57)、 <u>足利市</u> (236)、 <u>栃木市</u> (680)、 <u>佐野市</u> (314)、 <u>鹿沼市</u> (332)、 <u>日光市</u> (5)、 <u>小山市</u> (669)、 <u>真岡市</u> (21)、 <u>大田原市</u> (81)、 <u>矢板市</u> (3)、 <u>那須塩原市</u> (5)、 <u>さくら市</u> (5)、 <u>下野市</u> (95)、 <u>上三川町</u> (65)、 <u>益子町</u> (1)、 <u>壬生町</u> (203)、 <u>野木町</u> (88) 計17市町 2,860本

注1：カッコ内は果樹園以外の新規被害本数
 注2：下線市町は、果樹園の被害も発生

(参考) 両毛地区における被害確認状況(令和2(2020)年度) →



<参考資料：クビアカツヤカミキリについて>

1. クビアカツヤカミキリの概要

○生態等

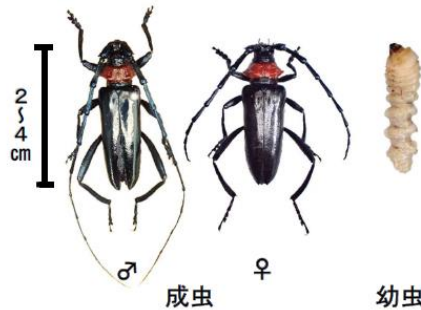
- ・原産地：中国、台湾、朝鮮半島、ベトナム北部など
- ・体長(成虫)：約1.7～4 cm
- ・体の色：全体的に光沢のある黒色で胸部(首部)が赤い
- ・寄主樹木(幼虫)：サクラ、ウメ、モモ、スモモ等の樹木(1～3年で成虫になる)
- ・産卵数：最大1,000個、在来カミキリの3倍程度
- ・成虫が樹皮上に産卵し、孵化した幼虫が生きた樹木の内部に入り込み、樹木の内側を食い荒らす

○法規制

・H30年1月に特定外来生物※に指定

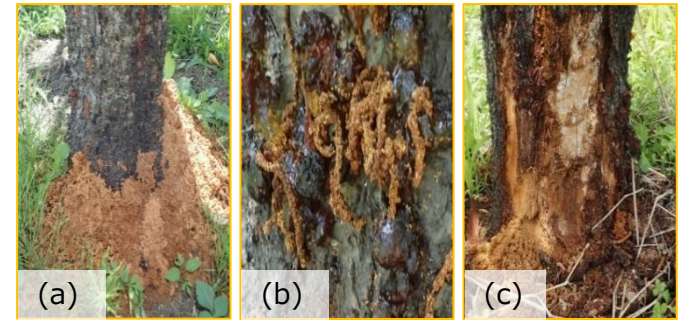
許可無しに「生きたまま運ぶこと」、「飼育すること」、「他の場所に放すこと」等が禁止された。

※外来生物法に基づき、外来生物であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定される



クビアカツヤカミキリが寄生すると、幹や枝から、明るい色でうどん状のフラスが大量に排出される

※フラス：幼虫が排出する、木くずと糞が混じったもの



- (a) 株元に大量に積もったフラス。パラパラした粉状になることもある。
- (b) フラス排出部分の拡大。フラスは「うどん状」になることが多い。
- (c) 被害が進行し、樹皮が剥がれ落ちた樹木。

2. 被害の特徴

幼虫が1～3年かけて樹木の内側を食い荒らし、樹木が弱り、やがて枯れてしまう。



(左) 食害によって枯死したモモ(果樹園)

(右) 食害によって枯死したサクラ(公園等)

3. クビアカツヤカミキリの一生

栃木県のモモ園における参考事例

